

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 ワクチン接種に関する相談支援体制は有効に機能しているか

質問要旨

2022年3月定例会での一般質問において、HPVワクチンの積極的勧奨の再開及び子どもたちへの新型コロナウイルスワクチンの接種開始に際し、いずれも深刻な副反応の報告があることから、自治体の役割として、市民に対してできる限り中立的な情報の提供と万一の場合に備えた相談支援体制の整備強化を求めました。それから1年を経て、生後6か月以上の乳児にも接種が開始されているなか、市内における現状について以下確認します。

1 HPVワクチンについて

- (1) これまでの接種者の人数について、過去5年間の推移をお示してください。
- (2) 今年4月から新たに9価ワクチンが定期接種に加わりますが、どのように説明、周知していきますか。
- (3) HPVワクチンに関する副反応による健康被害等により健康被害救済制度の申し立てがあれば、過去5年間の件数の推移をお示してください。

2 新型コロナウイルスワクチンについて

- (1) 現在の市のワクチン接種体制についてお示してください。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて、政府は今年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定しました。これにより、現時点でどのような接種体制の変更が考えられますか。
- (3) 新型コロナウイルスワクチンに関する副反応による健康被害等により健康被害救済制度の申し立てがあれば、過去3年間の件数の推移をお示してください。
- (4) HPVワクチンも同様ですが国の健康被害救済制度は非常に複雑で、申請のための準備が非常に大変であり、あきらめる方も多いたまいますが、市としてどのように対応していますか。
- (5) 副反応による健康被害等に関して、相談体制の整備や医師会や市内医療機関、学校や教育委員会との情報連携はどのように行われていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和5年2月15日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山浦 まゆみ

受付番号【 】

25	24	23	22

-(/)